

党市議会議員 中村あさと



私は、9月17日に一般質問に立ち聴覚障害について質問し、補聴器の購入補助制度の創設をもとめました。

現在、和歌山市では、高度・重度の難聴の方に対しての補聴器購入補助はありますが、中程度の難聴に対する補助はありません。しかし、難聴を放置すると、認知症の発症につながる恐れなどが指摘されています。日本耳鼻咽喉科学会などでは、早期の補聴器の使用は、脳機能の回復につながり認知症の予防に効果的として、推奨しています

また、コミュニティセンターについても質問しました

補聴器購入への補助とコミセンについて質す

た。砂山・今福・吹上・高松地域のコミュニティセンターについて、近年、自助・共助に偏重した政治の流れにより、住民の健康からまちづくりまで地域のみなさんの活動に委ねられています。私は、こうした活動を支える為のコミュニティセンターの設置にむけ住民の皆さんと施設概要など議論を始めるべきではないかと質しました。また、地域の皆さんの強い要望である、防災や避難所としての機能を備えた施設についての認識を質しました。市長は、災害時に備え防災機能を兼ね備えた施設として避難住民の受け入れなど様々な役割が求められると考えると答弁しました



リレートーク

県会議員 おくむら のりこの
しんぶん赤旗 読者ニュース
2019年9月22日第373号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



フラダンス楽しむ

9月13日河西後援会で恒例の観月会です。フラダンスを披露して下さった方たちの記念写真に加わった奥村県議（前列左から3人目）と坂口市議（前列右から2人目）です。みな楽しそうねえ！

24日福祉環境委員会 ぜひ傍聴を

9月3日、国民要求和歌山県大運動実行委員会が今年もくらしの要求実現のため県交渉を行いました。障害児の子育て中のお母さんからの切実な訴えが会場に響きました。その声をぜひ24日の福祉環境委員会に伝えなければと思います。早期療育をすべての子どもに保証してほしいというあたりまえの願いに充分応えるのが県政の役割です。

保育所の空き室等で療育を受けられることができるようにしてほしいという願いに県はスペース問題よりも、制度そのもの

来年1月に党大会開催決める 連合政権本格化 党勢拡大本気で

日本共産党は9月15日第7回中央委員会総会を党本部で行いました。総会では第28回党大会を来年1月14日に召集することを決めました。党大会では第1に野党連合政権の実現を大目標にすえ共闘の発展方向を明らかにし、来るべき総選挙をどう戦うか提起します。第2はこの任務を支える強くて大きな党をいかに作るかという問題です。党建設の現状を歴史的に見てみると1980年ころの党員は50万人近くでしたが今では28万人、しんぶん赤旗読者は355万人から現在では100万人を割っているそうです。1980年の参院選全国区の得票は407万票、今年支部で討議し支部の党勢拡大目標を決め奮闘しましょう。

のり子の週間日誌（主なもの）

9月20日	一般質問 憲法学習会	
21日	委員会質問準備	
22日	会議	
23日	消費税学習会	
24日	環境福祉委員会	
25日	委員会予備日	
26日	本会議、市駅前事務所生活相談所	社会保障学校